

令和2年度版 工事歩掛要覧〈建築・設備編〉

令和2年
9月発刊



経済調査会積算研究会 編
B5判 約800頁
定価8,470円(本体7,700円+税)

品確法では「予定価格を適正に定めること」を規定しており、公共建築工事において積算基準類の適用による工事費積算の実施が必須です。

本書は、公共建築工事標準仕様書・積算基準・標準単価積算基準・共通費積算基準・数量積算基準等の最新版に準拠しています。

- 令和2年度の積算基準類等に準拠
- 公共建築工事積算研究会参考歩掛りと、経済調査会積算研究会検討歩掛りも併せて掲載
- 付録に、(令和2年3月からの)公共工事設計労務単価、共通費の算定例を掲載

主要目次

総論

建築工事編

建築工事の積算について

1. 仮設
2. 土工
3. 地業
4. 鉄筋
5. コンクリート
6. 型枠
7. 鉄骨
8. 既製コンクリート

9. 防水
10. 石
11. タイル
12. 木工
13. 屋根およびとい
14. 金属
15. 左官
16. 建具
17. 塗装
18. 内外装
19. 仕上ユニットほか

電気設備工事編

電気設備工事の積算について

1. 共通工事
2. 電力設備工事
3. 通信・情報設備工事
4. 改修工事

機械設備工事編

機械設備工事の積算について

1. 共通工事
2. 空気調和設備工事
3. 自動制御設備工事
4. 給排水衛生設備工事
5. 改修工事

付録

1. 公共工事設計労務単価について
2. 共通費の算定例

内容見本

共通仮設費の算出

表・12 共通仮設費率 (新築建築工事)

直接工事費	1,000万円以下	1,000万円を超える
	上 限 4.33%	$5.78 \times P - 0.0313$
共通仮設費率 共通仮設費率算定式により算出された率		
下 限	3.25%	$4.34 \times P - 0.0313$

算定式 $Kr = 7.56 \times P - 0.1105 \times T - 0.2389$

ただし、 Kr : 共通仮設費率 (%)

P : 直接工事費 (千円) とし、1,000万円以下の場合は、1,000万円として扱う

T : 工期 (か月)

- (注) 1. 本表の共通仮設費率は、施工場所が一般的な市街地の比率である。
2. Kr の値は、小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下第2位止めとする。

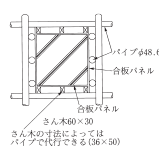
変圧器

表・電・2-4-3 高圧進相コンデンサ

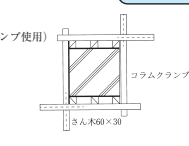
名 称	規 格	高圧進相 コンデンサ 台	電 工 人	普 通 作業員 人	その他	搬入費	摘 要
高 圧 進 相 コンデンサ (6kV/3kV)	三相 10/12kvar	1	0.248	0.248			
	〃 15/18 〃	1	0.301	0.301			
	〃 20/24 〃	1	0.442	0.442			
	〃 25/30 〃	1	0.558	0.558			
	〃 30/36 〃	1	0.575	0.575			
	〃 50 〃	1	0.655	0.655	一式	一式	
	〃 75 〃	1	1.13	1.13			
	〃 100 〃	1	1.26	1.26			
	〃 150 〃	1	1.59	1.59			
	〃 200 〃	1	1.78	1.78			

型枠

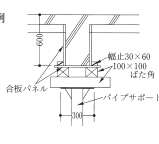
柱の型枠例



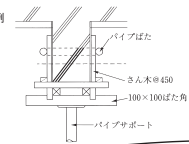
柱の型枠例
(コラムクランプ使用)



小梁の型枠例



大梁の型枠例



SGP-PB

表・機・1-1-2 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)

細 目	管 径	材 料	配管工 人	はつり補修 人	その他
屋内一般 配 管	15	1.10	0.089		
	20	1.10	0.100		
	25	1.10	0.123		
	32	1.10	0.151		
	40	1.10	0.166		
	50	1.10	0.208		
	65	1.10	0.271		
	80	1.10	0.307		
	100	1.05	0.401		
機械室・ 便所配管	15	1.10	0.107		
	20	1.10	0.120		
	25	1.10	0.148		
	32	1.10	0.181		
	40	1.10	0.210		

14年振り 待望の改訂版

解体工事の計画、積算、最新の解体技術、
解体材の処理と再利用等を1冊に収録

改訂

新・解体工法と積算

解体工法研究会 編

平成29年4月発刊

B5判 400頁 定価6,264円(本体5,800円+税)

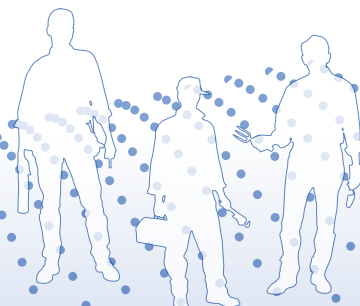
本書の特徴

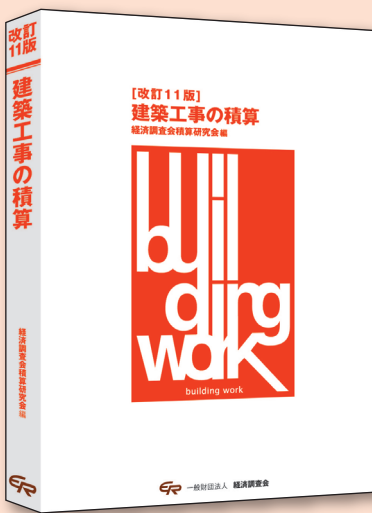


- 解体工事の計画、積算、解体材処理、再利用までを事例を交えて詳細に解説
- 解体工事の際の重要課題の一つである安全管理についても詳しく解説
- 随所に図、表、写真、フローを用いて説明し、利用しやすいように編集

主要目次

- | | |
|-----------------|----------------|
| 第1章 解体の必要性とその沿革 | 第6章 鉄筋造の解体 |
| 第2章 各種解体工法と機械 | 第7章 解体工事費の積算 |
| 第3章 解体工事の計画 | 第8章 木造の解体 |
| 第4章 災害防止対策と環境保全 | 第9章 解体材の処理と再利用 |
| 第5章 各種構造物の解体工法 | 第10章 曳家 |





[改訂11版] 建築工事の積算

平成28年
10月発刊

- ◆「公共建築工事積算基準」「公共建築工事積算基準等資料」等に基づいて内容を更新。
- ◆公共建築工事積算における単価補正の計算例を解説付きで参考資料として新たに収録しています。

経済調査会積算研究会 編／B5判／約420頁／定価6,377円(本体5,905円+税)

豊富な、図・表・解説・注意点・単価表算出例と、平易な言葉による解説により、改訂20版工事歩掛要覧〈建築・設備編〉の建築分野の理解と活用に使えます。

主要目次

- | | |
|-------------|--------------|
| 概論 | 13. 屋根およびとい |
| 1. 直接仮設 | 14. 金属 |
| 2. 土工 | 15. 左官 |
| 3. 地業 | 16. 建具 |
| 4. 鉄筋 | 17. 塗装 |
| 5. コンクリート | 18. 内外装 |
| 6. 型枠 | 19. 仕上ユニット 他 |
| 7. 鉄骨 | 20. 構内舗装 |
| 8. 既製コンクリート | 21. 植栽 |
| 9. 防水 | 22. とりこわし |
| 10. 石 | 23. 建築改修 |
| 11. タイル | 参考資料 |
| 12. 木工 | |

併せてご利用ください

国土交通省
公共建築工事
積算基準に準拠

市場単価・
工事費なら…

設備分野の
理解と活用は
こちら



工事歩掛要覧
〈建築・設備編〉



建築施工単価



建築設備工事の積算

詳しくは裏面をご覧ください

内容見本

求める補正市場単価は、表 参-6より

細 目	摘 要		単位	市場 単価	算定式
	下地種類等	塗装 種別			
EP 塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せつこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A 種	m ²	F-P 12÷122

市場単価

まず、市場単価「F-P」を求める。

表 参-3より、

細 目	摘 要		単位	単価記号	市場 単価
	下地種類等	塗装 種別			
EP 塗 り	(素地ごしらえ B 種共) せつこうボード面		B 種	m ²	F 820
素 地 ご し ら え	せつこうボード面		B 種	m ²	P 190

(注) 市場単価は「建築施工単価 16 夏号」東京単価。

上記より

$$F-P=820-190=630 \dots\dots\dots (1)$$

算定式

次に、算定式「12÷122」を求める。

・EP 塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り) 一般面 素地ごしらえ別途 (標準仕様書仕様)

表 参-4、参-8 (A 種 一般) より、歩掛にて算出する。

名 称	摘 要	単位	数量	単価	金額	備考
合成樹脂エマルジョンペイント	JIS K 5663 1 種	kg	0.3	300.00	90.00	
合成樹脂エマルジョン	JIS K 5663	"	0.07	380.00	26.60	

参考資料

・EP 塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り) 一般面 素地ごしらえ別途 (標準仕様書仕様)

表 参-4、参-8 (B 種 一般) より、歩掛にて算出する。

(1m²当たり)

名 称	摘 要	単位	数量	単価	金額	備考
合成樹脂エマルジョンペイント	JIS K 5663 1 種	kg	0.2	300.00	60.00	
合成樹脂エマルジョン	JIS K 5663	"	0.07	380.00	26.60	
塗 装 の 他		人	0.04	26,300.00	1,052.00	
そ の 他		一式			204.95	(材+労) × 18%
計					1,343.55	

上記より

$$12 \div 122 = 1816.07 \div 1343.55 \approx 1.35 \dots\dots\dots (2)$$

補正市場単価=市場単価×算定式より、

$$(F-P) \times (12 \div 122) = (1) \times (2) = 630 \times 1.35 = 850.50 \dots\dots\dots (3)$$

新営市場単価=基準単価×塗装工事の新営補正率「1.01」(表 参-1) より、

$$(3) \times 1.01 = 859.00$$

計算例②

補正市場単価、執務並行改修

「EP 塗り せつこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途 A 種」

求める補正市場単価は、表 参-7より

細 目	摘 要		単位	市場 単価	算定式
	下地種類等	塗装 種別			
EP 塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	ボード面 (縦目) 一般面 下地調整別途		A 種	m ²	F-P 110÷122

『藤森照信の建築探偵放浪記』

～風の向くまま気の向くまま～

藤森 照信 著

工学院大学特任教授、東京大学名誉教授、
東京都江戸東京博物館館長

3,888円(本体3,600円+税) A5判 470頁

◆月刊『積算資料』連載中の「建築あれこれ探偵団がゆく」を
待望の書籍化!

2018年3月
発刊予定

学生時代すでに教授からも藤森先生と呼ばれ、その
知識は縦横無尽。
「これなら来るまでもなかった」と落胆から始まり
やがて「やはり来てよかった」と転回するくだりは
圧巻の建築探偵事件簿。
実に多才な同級生。建築とはこんなふうに味わうも
のであったか。

小田 和正(ミュージシャン)

目次

I章 工法・造形・素材



No05 富岡製糸場

東京駅、豊平館、リアス・アーク美術館、富岡製糸場、
スイスシャレー、出雲大社、聴竹居、モニエの給水塔、
ル・ランシーの教会、水戸芸術館、歌舞伎座、京都駅、
伊豆長八美術館、雄勝天然スレート ほか



No45 落水荘

II章 人物

国立代々木競技場、戦没学徒記念館 若人の広場、香川県庁舎、
ジャンヌレ邸・ショウオブ邸・シュトツツアー邸、サヴォア邸、
ミューラー邸、チューゲンハット邸、落水荘、ネグブ記念碑 ほか

III章 宗教

ウマイヤモスク、死海写本神殿、聖墳墓教会、サグラダファミリア、
ヴォロネツ修道院附属教会、メテオラの修道院、ル・トロネ修道院、
モン・サン・ミッシェル修道院 ほか

IV章 歴史

ナチスドイツの建築、芸術の家とナチス本部、クノッソス宮殿、
エピダウロスの円形劇場、パンテオン、ソウル駅、瀋陽故宮、
網走監獄、万葉亭、国宝 待庵 ほか



No61 エピダウロスの円形劇場

JSSI免震構造施工標準 2017

[編集] 一般社団法人 日本免震構造協会 [発行] 一般財団法人 経済調査会

A4判 142頁 定価2,592円(本体2,400円+税)

4年ぶりの改訂

2017年
7月発行



免震構造物の部材製作、免震層の施工、検査に関する基準を標準的な施工管理に沿って記述。免震建築に携わる技術者必携の図書です。

今回の改訂内容

- ・ 施工計画の立案に重点を置いて解説(2章)し、施工計画書の作成に活用できる詳細なチェックシート(例)を掲載。
- ・ 免震部材メーカー各社の協力により、製品の性能検査に関する解説を「8.付録」として掲載。

本書のご案内

「JSSI免震構造施工標準」(以下「JSSI施工標準」と記す)は、健全なる免震建築物の普及を目指す日本免震構造協会の活動の一端を担い、免震建築物の施工品質の確保を目的として、2001年に初版が発刊されました。以来、設計、施工技術の進歩や、震災の教訓を受け止めながら、定期的に改定を行ってきました。今回は4回目の改訂になります。前回の改定の前には、2011年3月11日、東北地方太平洋沖地震が発生し、大きな人的被害や建物被害を受けました。図らずも免震建築物の構造安全性が今まで以上に実証されたとともに、初めて遭遇する大きな変形に対して免震エキスパンションジョイントや耐火目地に關する不具合が新たに報告されました。これを受けJSSI施工標準2013年度版には免震エキスパンションジョイントや、設計クリアランスに関する記述を追加しています。また、昨年、2016年4月14日および16日にも熊本地方を中心に直下型ともいえる活断層に由来する強い地震が発生し、一般建物に多くの被害が報告されていますが、免震建築物は構造的な被害を受けることはありませんでした。このように、免震建築物が設計、施工の両面で、一定レベル以上の免震性能品質を確保し続けているということは、免震建築に携わってこられた技術者の皆さまの努力のたまものです。

今回の改訂においては、施工品質の造り込みの第一歩である、施工計画の立案に重点を置きました。既に免震工事という工事区分が確立され、鉄骨工事やコンクリート工事と同様に、施工計画書とそれに基づく高度な品質管理が要求されています。JSSI施工標準2013年版では、品質管理という項目で施工計画書の構成や施工管理書類の位置付け等を掲載していましたが、今回の改訂では、「2.施工計画の立案」という章を設け、さらに施工計画書の作成に活用できる詳細な施工計画チェックシートも掲載しました。また、免震部材製作の関係各社の協力を得て、製品検査、とりわけ性能検査に関する解説を付録として掲載しております。

今後とも、免震構造の施工品質確保への一助となるよう、本書を活用していただければ幸いです。

一般社団法人 日本免震構造協会
技術委員会/施工部会
「はじめに」より抜粋

目次

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1. 総 則 | 1.1 適用範囲 |
| | 1.2 準拠する基準等 |
| | 1.3 用語 |
| 2. 施工計画の立案 | 2.1 品質管理計画 |
| | 2.2 施工計画書に記載すべき項目 |
| | 2.3 施工計画のチェックシート(例) |
| 3. 製作管理 | 3.1 アイソレータの製作管理 |
| | 3.2 ダンパーの製作管理 |
| | 3.3 ベースプレートの製作管理 |
| | 3.4 免震継手の製作管理 |
| | 3.5 免震エキスパンションジョイントの製作管理 |
| 4. 仮設計画 | 4.1 仮設計画 |
| | 4.2 水平拘束材 |
| 5. 免震層の施工 | 5.1 受入検査 |
| | 5.2 基礎免震建物の施工 |
| | 5.3 免震部材の保管、養生 |
| | 5.4 ベースプレートの下部充填工法 |
| | 5.5 安全管理 |
| | 5.6 施工時検査 |
| | 5.7 免震建物の竣工時検査 |
| 6. 免震継手および免震エキスパンションジョイントの施工 | 6.1 免震継手の施工 |
| | 6.2 免震エキスパンションジョイントの施工 |
| 7. 中間階免震の施工 | 7.1 中間階免震の概要 |
| | 7.2 中間階免震層の施工上の留意点 |
| | 7.3 中間階免震層における防火措置 |
| 8. 付録 | |

豊富な実例・データに基づく 工事単価情報誌!



住宅建築編 年1冊(4月)

新築住宅の工事費や材料費を工種別に掲載。

特集では、省エネ義務化を見据えて『住宅省エネルギー基準 簡易計算ルートについて』、『新しい断熱材認証(EI制度)の目的と展開』と題し、今後必須となる知識を幅広く紹介。また、『住宅と住宅設備のグッドデザイン』では、今や誰もが知る「グッドデザイン賞」の概要と住宅分野の評価傾向を紹介しながら、受賞作品を一覧で掲載しています。

掲載工事費

- | | | | |
|---------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. 仮設工事 | 10. 断熱・気密・防音工事 | 19. 木製建具工事 | 28. 給湯設備工事 |
| 2. 土・地業工事 | 11. 屋根・板金工事 | 20. 建具金物 | 29. 冷暖房・空調設備工事 |
| 3. 基礎工事 | 12. 金属工事 | 21. ガラス工事 | 30. 電気設備工事 |
| 4. 鉄筋コンクリート工事 | 13. 石工事 | 22. 塗装工事 | 31. 昇降設備工事 |
| 5. 鉄骨・耐火被覆工事 | 14. タイル工事 | 23. 内装(床)工事 | 32. 防火・防犯・防災 |
| 6. ALC工事 | 15. 左官工事 | 24. 内装(壁・天井)工事 | 33. 防蟻・防湿工事 |
| 7. 防水工事 | 16. 吹付工事 | 25. 室内装飾・家具工事 | 34. 外構・造園工事 |
| 8. 木工工事 | 17. 外装工事 | 26. 住宅設備機器 | 35. 商業・店舗工事 |
| 9. 木材 | 18. 金属製建具工事 | 27. 給排水・衛生工事 | 法規チェックリスト |



リフォーム編 年1冊(10月)

戸建・マンション専有部のリフォーム工事費を部位別に掲載。

特集は、「新耐震基準の木造住宅の耐震性能検証法」と「住宅ストック活用・活性化の道筋」の2つのタイムリーな企画。設計・見積り実例では、「長期優良住宅」、「ZEH」、「耐震」をはじめとした7事例を詳細まで分かり易く紹介。今号も「見積りの算出例」などリフォームに役立つ情報が満載です。

掲載工事費

点検・調査・診断、解体、仮設、基礎、構造、屋根、とい、外壁、サッシ、ガラス、内窓、ドア、床、壁、天井、壁紙、内部建具、家具、キッチン、浴室、洗面室、トイレ、設備、耐震・沈下修復、外構



マンション修繕編 隔年1冊(7月)

マンション共用部分修繕に関する工事単価について、長期修繕計画標準様式の修繕工事項目に基づき掲載。

特集は「社会保険加入対策」、「標準管理規約の改正」「ヴィンテージマンションプロジェクト」の3テーマ。見積り実例では、超高層マンションの大規模修繕、耐震補強と大規模修繕の同時工事、配管更生、給排水設備改修の合計4事例を掲載。次号は2019年7月発刊予定

掲載工事費

法定点検、共用部分清掃、仮設、屋根・床防水、外壁塗装等、シーリング、鉄部塗装等、建具・金物等、給水・排水、配管更生、ガス、空調・換気、電灯設備、情報・通信設備、消防用設備、昇降機設備、立体駐車場設備、外構、調査診断